


I


暮らしづくり

～便利で快適な質の高い生活ができるまち～

- ① 安全で安心につつまれた生活の確保
- ② 健やかで心安らかな暮らしの充実
- ③ 利便性の高い生活基盤の整備
- ④ 自然と調和した生活空間の創造

① 防災・減災対策の強化

拡充 防災対策事業費		3,611万円					
		(前年度) 6,259万円					
担当課	地域防災課	電話番号 74-8021					
1. 本市の現状と課題							
<p>全国で毎年大規模な災害が発生しており、本市においても、地震・津波、風水害、土砂災害、原子力災害などの様々な災害が想定され、いずれも大規模な被害が予測されています。</p> <p>このような状況の中、迅速・確実な情報伝達、避難場所・避難所の整備が求められています。</p>							
2. 平成31年度事業の内容							
<p>(1) 防災行政無線のより迅速・確実な情報伝達のため、今年度も防災ラジオを配付(無償貸与)します。 (今年度事業終了予定)</p> <p>(2) 指定避難所の耐震化推進のための、耐震化されていない指定避難所の耐震診断・設計を実施します。</p>							
3. 目標値または実施により求める効果							
<p>(1) 防災ラジオを500台配付(無償貸与)します。</p> <p>(2) 耐震診断・設計に基づく、指定避難所の耐震化計画(見直しも含む)を策定します。</p>							
(単位: 万円)							
財源	市の負担	3,611					
	経費内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">1,580</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">1,102</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">929</td> </tr> </table>	委託料	1,580	備品購入費	1,102	その他
委託料	1,580						
備品購入費	1,102						
その他	929						
 <p>防災ラジオ</p>							

継続 防災力向上事業費		2,133万円					
		(前年度) 2,277万円					
担当課	地域防災課	電話番号 74-8021					
1. 本市の現状と課題							
<p>全国で発生する大規模な災害における対応は、被災した自治体の教訓から、行政での対応には限界があり、広域な受援体制のほか、「自らの命・地域は自ら守る」自助・共助の重要性が増しており、地域・個人ごとの防災力の向上が求められています。</p>							
2. 平成31年度事業の内容							
<p>市の各地域にある指定避難所に備蓄倉庫を設置し、市の備蓄品を分散配置するとともに、防災訓練による関係機関・地域との連携の強化及び防災士の資格取得助成による防災リーダーの育成等により、市民・各地区の防災力の向上を図ります。</p>							
3. 目標値または実施により求める効果							
<p>(1) 備蓄倉庫を分散配置(7か所予定)します。小学校:朝日丘、窪、十二町、速川、明和 中学校:北部、西條</p> <p>(2) 市の総合防災訓練、地区防災訓練、原子力防災訓練等を実施します。</p> <p>(3) 防災士の育成目標: 25人</p>							
(単位: 万円)							
財源	市債	410					
	その他	394					
	市の負担	1,329					
経費内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">500</td> </tr> <tr> <td>補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">430</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,203</td> </tr> </table>	消耗品費	500	補助及び交付金	430	その他	1,203
消耗品費	500						
補助及び交付金	430						
その他	1,203						
 <p>防災ワークショップの様子</p>							

② 消防・救急救助体制等の充実

継続	救急救命士研修派遣費		252万円		
			(前年度) 244万円		
担当課		消防総務課	電話番号 30-7114		
1. 本市の現状と課題					
救命率の向上と救急業務の高度化を目的に救急救命士制度が創設され、救急救命士を確保するために有資格者の採用や研修所に派遣しています。					
2. 平成31年度事業の内容					
研修派遣計画に基づき、研修所に1名を派遣し有資格者の確保を図ります。					
3. 目標値または実施により求める効果					
すべての救急隊に救急救命士を配置し、高度な救急処置を行うことにより救命率の向上が図られます。					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	252	経費内訳	負担金	205
				旅費	27
				その他	20



救命講習の様子

継続	防火水槽新設事業費		3,580万円		
			(前年度) 3,290万円		
担当課		消防総務課	電話番号 30-7114		
1. 本市の現状と課題					
現在、市内各地区には、火災時に対応できるよう防火水槽を設置していますが、住宅の増加などに伴う新たな防火水槽の設置や、設置からかなりの年数が経過している老朽化した防火水槽の計画的な更新が必要となっています。					
2. 平成31年度事業の内容					
消防施設整備計画に基づき計画的に防火水槽の整備を実施しており、平成31年度には市内3地区での新設更新を予定しています。					
3. 目標値または実施により求める効果					
耐震性の防火水槽を整備することにより、地震などの災害時にも使用できます。また有蓋化することで環境の改善を図ります。					
(単位: 万円)					
財源	市債	3,580	経費内訳	工事請負費	3,320
				役務費	210
				補償金	50



耐震性防火水槽

② 消防・救急救助体制等の充実


継続	消防自動車購入費	2,385万円			
		(前年度)	1億403万円		
担当課 消防総務課		電話番号	30-7114		
1. 本市の現状と課題					
<p>消防本部・消防署、消防団には、火災等に対応するため消防ポンプ自動車を配備していますが、その中には導入からかなりの年月が経過し、老朽化が著しい車両もあります。修理部品も入手困難となっており、機能の低下により消防活動に支障をきたす恐れもあることから、計画的な更新が必要です。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>老朽化が著しい消防本部広報車を更新します。また速川分団の消防ポンプ自動車も更新し、最新鋭の消防ポンプ自動車を配備します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>最新鋭の消防ポンプ自動車を配備し消防力の維持・強化を図ることで市民の安全・安心につなげます。</p>					
(単位:万円)					
財源	市債	2,370	経費内訳	備品購入費	2,373
	市の負担	15		旅費	9
				保険料	3

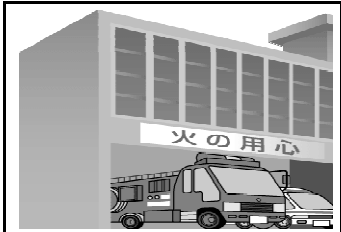


新規	高規格救急車整備事業費	4,165万円			
		(前年度)	-		
担当課 消防総務課		電話番号	30-7114		
1. 本市の現状と課題					
<p>高齢化社会の到来などにより救急出場件数が増加し、また、集団救急事故等に対応するため救急救命体制の強化が必要となっています。現在配備されている高規格救急車の中には導入からかなりの年月が経過し、老朽化が著しい車両があり更新整備が必要となっています。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>老朽化が著しい高規格救急車及び高度救命資機材を更新整備します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>高規格救急車及び高度救命資機材を整備し、併せて救急隊員の教育訓練を実施することで救命率の向上が図られます。</p>					
(単位:万円)					
財源	市債	2,220	経費内訳	備品購入費	4,161
	国・県の負担	1,940		役務費	3
	市の負担	5		旅費	1





② 消防・救急救助体制等の充実

継続	石油貯蔵施設立地対策等事業費	350万円	
		(前年度)	344万円
担当課 消防総務課		電話番号	30-7114
1. 本市の現状と課題			
火災等の災害活動時、隊員の安全管理・安全装備は必要不可欠となっていますが、その装備品の中には導入からかなりの年月が経過し、機能が低下した装備品があることから計画的な更新が必要です。			
2. 平成31年度事業の内容			
現在着用している防火衣が、経年劣化により防火性能が著しく低下しており、消火活動時の安全確保のため順次更新します。			
3. 目標値または実施により求める効果			
防火衣を整備することで、隊員の身体的かつ精神的な負担を軽減し、活動時の安全性を高めることで消防力の充実強化が図られます。			
		(単位:万円)	
財源	県の負担	220	経費内訳
	市の負担	130	
			備品購入費 350
			 防火衣

拡充	消防出張所整備事業費	1,334万円	
		(前年度)	886万円
担当課 消防総務課		電話番号	30-7114
1. 本市の現状と課題			
高齢化社会の到来や能越自動車道の開通などにより、本市の火災や救急出場件数が増加傾向にあります。また、集中豪雨や地震・津波等の自然災害に対する対応に加え、テロ対策などの特殊災害に対する備えなど、市民の生命・財産を守るため、消防・救急救助体制、機能の強化が求められています。			
2. 平成31年度事業の内容			
消防・救急救助体制の強化を図るため、救急出場の3分の1を占める市南部地区に出張所新設を計画し、建設予定地の地質調査・及び設計を行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
市南部地区において、現場到着時間が短縮され、より早く消火活動や救急活動に着手できます。			
		(単位:万円)	
財源	市債	1,330	経費内訳
	市の負担	4	
			委託料 1,332
			役務費 2
			 消防出張所

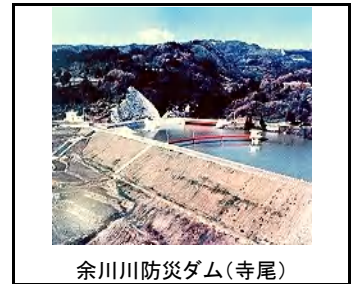
③ 災害に強い地域づくり

継続	地域ぐるみ除排雪促進事業費	300万円			
		(前年度) 300万円			
担当課	地域振興課	電話番号 74-8013			
1. 本市の現状と課題 冬期間の中山間地域では、地域内の狭い道路に通常の除雪機が入れないほか、ひとり暮らし高齢者の自宅では、除排雪を行うことができないため、日常生活に支障をきたしています。					
2. 平成31年度事業の内容 公共用道路の除排雪や、自力での除排雪が困難な高齢者世帯の除排雪支援を行う4地区の自治会に対して、冬期間における交通の確保や生活環境の向上のために、市が除雪機を4台購入し、その貸付を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果 冬期間における地域の安全・安心を確保します。					
(単位: 万円)					
財源	市債	280	経費内訳	備品購入費	300
	市の負担	20			
 自治会に対する除雪機の貸与					

拡充	県単治山事業費	2,250万円			
		(前年度) 300万円			
担当課	ふるさと整備課	電話番号 30-7071			
1. 本市の現状と課題 市内には長年の風雨により荒廃した山地があり、そこから生じる山地災害により公共施設や住宅へ被害を及ぼす危険があります。					
2. 平成31年度事業の内容 角間地区ほか3地区について、山腹工等の治山工事を実施し、斜面の安定を図ります。					
3. 目標値または実施により求める効果 山地災害の復旧を図り、被害を防ぐことにより、安心した生活を確保します。					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	1,100	経費内訳	工事請負費	2,050
	市債	1,100		委託料	150
	市の負担	50		修繕料	50
 治山事業による復旧(法枠工)					

③ 災害に強い地域づくり


継続	余川川防災ダム管理事業費		1,140万円		
			(前年度) 1,170万円		
担当課		ふるさと整備課	電話番号 30-7071		
1. 本市の現状と課題					
昭和52年4月より、富山県から余川川の農業用ダムの管理委託を受けており、大雨時に河川流量の調整を行っています。					
2. 平成31年度事業の内容					
余川川防災ダムの電気保安やダムの雑木処理など、施設の維持に必要な業務を委託するものです。					
3. 目標値または実施により求める効果					
余川川下流域の氾濫等による洪水被害を防ぎ、安心した生活を確保します。					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	570	経費内訳	賃金	106
	市の負担	570		光熱水費	66
				その他	968




拡充	県営中山間地域防災減災事業費負担金		3,960万円		
			(前年度) 950万円		
担当課		ふるさと整備課	電話番号 30-7071		
1. 本市の現状と課題					
市内には現在46箇所の防災重点ため池があり、地震等により堤体が決壊した場合、周辺の人家や公共施設等に甚大な被害をもたらす恐れがあります。					
しかし、ため池の整備には多額の費用と相当の期間が必要となります。					
2. 平成31年度事業の内容					
加納新池(継続)、島山池(継続)、新保大池(継続)、石仏池(新規)、谷内山池(新規)の改修を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
災害を未然に防止するとともに農業生産の維持と農業経営の安定を図ります。					
(単位: 万円)					
財源	市債	3,560	経費内訳	負担金	3,960
	市の負担	400			





③ 災害に強い地域づくり

新規	ため池耐震性調査事業費		4,601万円
			(前年度) -
担当課	ふるさと整備課	電話番号	30-7071
1. 本市の現状と課題			
老朽化が進むため池は、地震等により堤体が決壊する恐れがあり、周辺の人家、公共施設等に甚大な被害をもたらす恐れがあります。			
2. 平成31年度事業の内容			
瀬戸前新開池(上田)、火打谷1号池(七分一)、坊ヶ谷内池(早借)、仲直池(白川)、蛇木共同池(戸津宮)、上平池(吉岡)、字見谷池(平沢)の耐震性調査を行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
ため池の耐震性を確保し、防災・減災機能を強化します。			
(単位: 万円)			
財源	市債	4,600	経費内訳
	市の負担	1	
			委託料
			4,601
(単位: 万円)			
			
堤体のボーリング調査			

継続	市単河川改修事業費		2,735万円
			(前年度) 3,200万円
担当課	ふるさと整備課	電話番号	30-7071
1. 本市の現状と課題			
市内には、出水時に慢性的な浸水被害を受けている地区があり、その原因となっている河川の改修を進める必要があります。			
2. 平成31年度事業の内容			
泉川(下田子地内)ほか9河川について、河道の掘削や護岸工事を行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
大雨による浸水被害の解消を図り、安心して暮らせる環境を整備します。			
(単位: 万円)			
財源	市債	2,730	経費内訳
	市の負担	5	
			工事請負費
			2,700
			燃料費
			20
			その他
			15
(単位: 万円)			
			
改修前の河川(護岸整備)			

③ 災害に強い地域づくり

継続	緊急浸水対策事業費			538万円	
				(前年度) 2,147万円	
担当課		ふるさと整備課	電話番号	30-7071	
1. 本市の現状と課題					
平成29年7月1日の豪雨災害を受け、明らかとなった浸水対策の課題に対応するため、浸水した地区の具体的な浸水対策が求められています。					
2. 平成31年度事業の内容					
浸水対策協議会にて検討された対策方針案を元に、短期対策の実施及び検証や、中長期的な方針についての基本設計等を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
調査を基に立案された有効的な浸水対策を実施することで、浸水被害の早期軽減を図ります。					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	538	経費内訳	委託料	500
				使用料及び賃借料	22
				消耗品費	16
					
豪雨による浸水(道路)					

拡充	急傾斜地崩壊防止対策事業費			1,937万円	
				(前年度) 700万円	
担当課		ふるさと整備課	電話番号	30-7071	
1. 本市の現状と課題					
市内においては急傾斜地に隣接する家屋がおよそ二千軒あり、土砂災害による市民及び住宅への影響を未然に防ぐことが求められています。					
2. 平成31年度事業の内容					
小杉地区及び中田地区の急傾斜地に対し、崩壊防止のための対策工事を行います。 また、下久津呂地区にある急傾斜地崩壊防止対策施設の修繕を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
土砂災害の危険から市民の生命と財産を守り、安心して暮らせる生活環境の確保を図ります。					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	800	経費内訳	工事請負費	1,500
	市債	800		修繕料	295
	市の負担	337		その他	142
					
対策工事例(大型ブロック)					

③ 災害に強い地域づくり


継続	除雪対策事業費	1億500万円			
		(前年度)	1億500万円		
担当課 道路課		電話番号	30-7070		
1. 本市の現状と課題					
地形の関係により、地域により降雪状況が異なるため、きめ細かく除雪を行う必要があります。					
2. 平成31年度事業の内容					
除雪計画を立て、きめ細やかな除雪の実施により、冬期間の円滑な交通の確保を図ります。					
3. 目標値または実施により求める効果					
冬期の市民の日常生活や事業活動に支障を及ぼさないよう、適切な除排雪を実施し、安全、円滑な交通を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	2,699	経費内訳	賃借料	5,079
	その他	15		委託料	2,683
	市の負担	7,786		その他	2,738




継続	消雪施設リフレッシュ事業費	3,150万円			
		(前年度)	3,329万円		
担当課 道路課		電話番号	30-7070		
1. 本市の現状と課題					
市内の消雪施設は、大半が設置後20年を経過しているため、配管の漏水や散水不良による不具合が生じています。このため、老朽化した消雪施設の改修や更新が必要となっています。					
2. 平成31年度事業の内容					
北大町第二工区(北大町地内)ほか1工区について、散水管の布設替を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
老朽化した消雪施設を更新することにより、冬期間の円滑な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,800	経費内訳	工事請負費	3,000
	市債	1,350		その他	150



③ 災害に強い地域づくり

継続	地域ぐるみ除排雪促進事業費	652万円			
		(前年度) 618万円			
担当課	道路課	電話番号 30-7070			
1. 本市の現状と課題					
<p>地域における生活道路や幅員の狭い道路についても、確実に除排雪を行わなければなりません、市直営では行き届かない面があるため、地域協働の観点から地域ぐるみの除排雪を推進する必要があります。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>赤毛・土倉・坪池地区に貸与している小型除雪機械が、購入から20年以上経過しているため更新を図ります。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>地域ぐるみの除排雪に対する支援を行うことにより、地域における冬期間の円滑な交通環境を確保します。</p>					
(単位:万円)					
財源	県の負担	217	経費内訳	備品購入費	649
	市債	390		保険料	3
	市の負担	45			
					
小型ホイールローダー					

拡充	除雪機械購入事業費	4,067万円			
		(前年度) 934万円			
担当課	道路課	電話番号 30-7070			
1. 本市の現状と課題					
<p>中山間地に配備されている除雪機械を、リース車から市有車に切り替え、リース期間外の降雪に対応します。老朽化の著しい除雪トラックの更新を図ります。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>タイヤショベル6t級、1台を購入します。 除雪トラック7t級、1台を更新します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>不足する除雪機を新たに配備することにより、冬期間の円滑な交通環境を確保します。</p>					
(単位:万円)					
財源	国の負担	2,013	経費内訳	備品購入費	4,061
	市債	1,960		保険料	6
	市の負担	94			
					
除雪トラック7t級					

③ 災害に強い地域づくり

継続	道路構造物補修事業費	2,200万円		
		(前年度)	4,592万円	
担当課 道路課		電話番号	30-7070	
1. 本市の現状と課題				
市内の道路構造物(トンネル、橋梁、BOXカルバート)は、老朽化が進んでおり、定期的に点検を行っています。この定期点検で不都合のあった箇所については、早急に対応する必要があります。				
2. 平成31年度事業の内容				
あいやま橋ほか1橋及び、桜峠トンネルほか1箇所について、目視による定期点検を行います。				
中尾地内の農免隧道については、補修工事を行います。				
管理する橋梁の点検が一通り完了したため、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行います。				
3. 目標値または実施により求める効果				
道路構造物の定期点検により、損傷箇所の早期発見・早期対応に努め、安全・安心な交通環境を確保します。				
		(単位:万円)		
財源	国の負担	1,234	経費内訳	
	市債	40		
	市の負担	926		
			委託料	2,100
			工事請負費	100



トンネルの点検

継続	橋りょうリフレッシュ事業費	1億497万円		
		(前年度)	1億1,792万円	
担当課 道路課		電話番号	30-7070	
1. 本市の現状と課題				
住民の安全・安心な生活環境と円滑な交通環境を確保するため、老朽化が進む橋梁の補修を計画的に行い橋梁の長寿命化を推進する必要があります。				
2. 平成31年度事業の内容				
十二町地内の湖光1号線1号橋ほか5橋について補修工事を行うとともに、今後修繕予定の橋梁について補修設計を行います。				
3. 目標値または実施により求める効果				
老朽化した橋梁の長寿命化を推進することによって、住民の安全・安心な生活環境と円滑な交通環境を確保します。				
		(単位:万円)		
財源	国の負担	3,927	経費内訳	
	市債	6,570		
			工事請負費	8,500
			委託料	1,500
			その他	497



湖光1号線1号橋

③ 災害に強い地域づくり

拡充 防災安全交付金下水道施設整備事業費[特別会計]

1億2,510万円

(前年度) 5億6,210万円

担当課 上下水道課

電話番号 74-8081

1. 本市の現状と課題

氷見市環境浄化センターは供用開始から36年が経過しており、施設の老朽化が問題となっています。

2. 平成31年度事業の内容

計画的な改築事業を行うため「ストックマネジメント計画」に基づく詳細調査を行います。また、標準耐用年数の2倍を超過した中央監視設備の更新工事を行います。

3. 目標値または実施により求める効果

下水道施設の事故発生や機能停止の未然防止とライフサイクルコストの縮減を図ります。

(単位:万円)

財源	国の負担	6,250	経費内訳	工事請負費	9,010
	市債	5,100		委託料	3,000
	使用料	1,160		その他	500



氷見市環境浄化センター

④ 日常生活の安全の確保

継続 消費者行政活性化事業費

309万円

(前年度)

283万円

担当課 市民課

電話番号 74-8010

1. 本市の現状と課題

情報通信技術の急速な発展や消費者を取り巻く社会環境の変化により、消費者トラブルは多様化・複雑化しています。また、高齢化社会の進展により、高齢者を狙った悪質商法による消費者被害が増加しています。

2. 平成31年度事業の内容

消費生活相談員による相談窓口の設置や弁護士による多重債務相談を行うとともに、消費者被害を未然に防ぐために啓発活動と高齢者等に電話の通話録音装置の無料貸し出しを行います。

3. 目標値または実施により求める効果

消費生活相談解決率100%を目指します。

(単位:万円)

財源	県の負担	25	経費内訳	賃金	220
	市の負担	284		社会保険料	40
				その他	49



啓発活動の様子

継続 交通安全対策費

545万円

(前年度)

451万円

担当課 環境防犯課

電話番号 74-8068

1. 本市の現状と課題

交通事故のない住みよい社会を作ることは、市民すべての願いです。氷見市では、悲惨な交通事故による犠牲者をなくすために、様々な場で交通安全意識の高揚を図り、事故のない明るい氷見市の実現を目指します。

2. 平成31年度事業の内容

交通安全推進事業として、幼児や児童、その保護者、また高齢者などに対し、交通安全教室等を開催し、交通事故に遭わないための知識やマナーを身に付けてもらうとともに、反射材等の普及活動を行い、夕暮れ、夜間の歩行中の交通事故防止を図ります。

3. 目標値または実施により求める効果

氷見市から交通事故死ゼロを目指します。

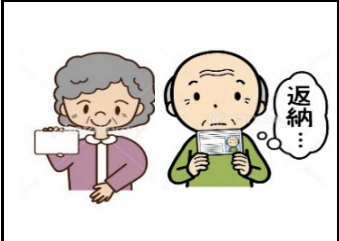
(単位:万円)


財源	県の負担	43	経費内訳	委託料	249
	市の負担	502		消耗品費	91
				その他	205




市内における交通安全啓発活動


④ 日常生活の安全の確保

継続	高齡者運転免許自主返納支援事業費		229万円
			(前年度) 229万円
担当課		環境防犯課	電話番号 74-8068
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>運転に不安を持つ高齢者が、自主的に運転免許を返納し易い環境をつくり、高齢者による交通事故抑制を図り、市民が安全、安心に暮らすことができる交通社会を推進します。</p> <p>2. 平成31年度事業の内容</p> <p>満70歳以上の市民で、有効期間内のすべての運転免許を自主返納された方に対し、運転経歴証明書の発行手数料と公共交通機関利用費(2万円分)を支援します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>交通事故の抑制及び公共交通機関の利用促進を目指し、安全で安心な社会環境につなげます。</p>			
		(単位: 万円)	
財源	市の負担	229	 <p>返納…</p> <p>高齡者運転免許返納事業</p>
	経費内訳	委託料	

拡充	防犯対策費		160万円
			(前年度) 110万円
担当課		環境防犯課	電話番号 74-8068
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>犯罪は広域化、凶悪化するとともに、その手口が巧妙化しており、実効性のある防犯対策を実施していく必要があります。犯罪のない社会の実現に向け、引続き関係機関・団体と連携した啓発活動やパトロール活動などの各種防犯活動を効果的に実施して、安全・安心なまちづくりを推進します。</p> <p>2. 平成31年度事業の内容</p> <p>氷見市防犯協会へ助成を行うことにより、関係機関・団体と連携した啓発活動やパトロール活動を実施します。また、自治会等を対象とした防犯カメラ設置補助制度を開始し、犯罪発生を抑止と早期解決を図ります。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>犯罪被害ゼロの社会を実現することが、究極の目標であり、地域を上げた啓発活動や、パトロール活動を推進することで、犯罪を起こさせない、安全で安心な社会環境につながります。</p>			
		(単位: 万円)	
財源	市の負担	160	 <p>市内店舗への防犯啓発活動</p>
	経費内訳	補助及び交付金	
		負担金	10

④ 日常生活の安全の確保

継続	安全なまちづくりセンター設置事業費	20万円
		(前年度) 20万円
担当課 環境防犯課		電話番号 74-8068
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>市民による自主的な防犯活動を推進するとともに、犯罪の防止に配慮した環境整備を促進することで、安全で安心して暮らせる氷見市の実現を目指します。</p> <p>地区の安全なまちづくり推進センター(協議会)の設置及び連携強化を図ります。</p> <p>2. 平成31年度事業の内容</p> <p>昨年度、氷見警察署と連携して発足した「氷見ながら見守り隊」の推進を図り、市内における防犯意識や地域の見守り活動の強化を目指すとともに、カギかけ防犯啓発や特殊詐欺被害の防止に向けた活動を地区の安全なまちづくり推進センターなどと連携しながら実施し、氷見市における安全安心を目指します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>防犯啓発活動や見守り活動の推進を図ることで、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指します。</p>		
(単位:万円)		
財源	市の負担 20	経費内訳 補助及び交付金 20
 氷見市防犯マスコット「トボウ」		

継続	カラスが住みにくいまちづくり事業費	182万円
		(前年度) 198万円
担当課 環境防犯課		電話番号 74-8065
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>カラスの糞が景観を損ね、路面等の清掃作業が市民の負担となっています。カラスの糞被害を防ぐため、市民と協働でカラスの住みにくいまちづくりを進めています。</p> <p>2. 平成31年度事業の内容</p> <p>モデル地区を中心に、市民や関係機関と連携しながら、カラスの糞の清掃除去を実施します。また、ごみステーションで使用する「カラス対策用ごみネット」の支給や追払い機の自治会への貸し出しを行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>カラスが集まる原因となるごみ対策や、電線などをねぐらとするカラスの追い払いを行うことで、カラスが住みにくいまちづくりを推進し、カラスの糞被害の減少を目指します。</p>		
(単位:万円)		
財源	市の負担 182	経費内訳 委託料 114 消耗品費 68
 高圧洗浄による清掃の様子		

④ 日常生活の安全の確保


継続	鳥獣被害防止対策事業費		5,232万円		
			(前年度)	4,813万円	
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8086		
1. 本市の現状と課題					
市内におけるイノシシなどの野生動物の被害は、電気柵などの農作物を守る取り組みにより減少していますがイノシシの捕獲数は年々増加しています。					
2. 平成31年度事業の内容					
農地周辺や集落周辺にある収穫しなくなった放任果樹の伐採を集落ぐるみで取り組む集落環境管理に対し助成をします。また、電気柵やワイヤーメッシュ柵の設置に対する助成や加害個体の捕獲を行います。道路やため池の法面などをイノシシが掘り起こし被害を減少させるため、その対策について調査研究します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
集落環境管理などの実施により、野生動物の集落周辺への近づきが少なくなり、農作物への被害が減少します。					
(単位:万円)					
財源	基金繰入金	5,000	経費内訳	委託料	3,731
	市の負担	232		補助及び交付金	1,167
				その他	334




継続	交通安全施設整備事業費		294万円		
			(前年度)	736万円	
担当課		道路課	電話番号 30-7070		
1. 本市の現状と課題					
交通事故の危険性が高い箇所について、交通事故を未然に防止するため、反射鏡や防護柵等交通安全施設を整備する必要があります。					
2. 平成31年度事業の内容					
地区からの要望で危険な箇所に反射鏡や防護柵を設置します。JA中央共済会から寄付を受けた反射鏡を、見通しの悪い箇所に設置します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
交通安全施設を整備することにより、交通事故の減少に努めます。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	294	経費内訳	工事請負費	294



④ 日常生活の安全の確保

継続	交通安全施設営繕費	628万円
		(前年度) 610万円
担当課	道路課	電話番号 74-8065
1. 本市の現状と課題 老朽化あるいは損傷の激しい交通安全施設については、速やかに修繕を行う必要があります。		
2. 平成31年度事業の内容 鞍川地内鞍川稲積線ほかの防護柵について、ガードレールや転落防止柵に更新するなどの修繕を行います。また、必要に応じて、交通安全施設の修繕を随時行います。		
3. 目標値または実施により求める効果 老朽化や損傷の激しい交通安全施設を更新することにより、交通環境の安全性を確保します。		
(単位:万円)		
財源	市の負担	628
	経費内訳	修繕料 628
		
		ガードレールへの取替

拡充	街灯新設等事業費	404万円
		(前年度) 114万円
担当課	道路課	電話番号 74-8074
1. 本市の現状と課題 犯罪のない安心・安全な街づくりを推進するため、夜間照明が不足する歩道等に街灯を設置する必要があります。		
2. 平成31年度事業の内容 地区からの要望に応じて、防犯灯の設置を行います。		
3. 目標値または実施により求める効果 夜間照明を確保することにより、犯罪のない安心・安全な街づくりを実現します。		
(単位:万円)		
財源	市の負担	404
	経費内訳	工事請負費 401 光熱水費 3
		
		防犯灯の設置

④ 日常生活の安全の確保

継続	街灯維持管理費	3,722万円
		(前年度) 3,643万円
担当課	道路課	電話番号 74-8074
<p>1. 本市の現状と課題 住民に安全な暮らしを提供するため、街灯の適正な維持管理を行う必要があります。</p> <p>2. 平成31年度事業の内容 市内の街灯の適正な維持管理を行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果 歩行者の夜間の安全性を確保するため、街灯の維持管理を行います。</p>		
(単位:万円)		
財源	市の負担	3,722
経費内訳	光熱水費	2,236
	使用料及び賃借料	1,053
	その他	433



破損した街灯の取替